

が～まるちょば

言葉を使わずに、笑いを届ける

「が～まるちょば」とは、ジョージア語で「こんにちは」の意味。「サイレントコメディー」、文字通り言葉を使わずに笑いを届けるHIRO-PONとケッチ！の二人組だ。「舞台に違う世界を作り上げ、お客さんの頭の中で言葉を想像できるように、僕らが仕向けるんですよ」(H)。言葉を使わずに、お客さんの想像を膨らませることによって「笑い」が生まれる。

が～まるちょばは、海外での活動も多く、高い評価を受けている。日本と海外とで「笑い」には違いはあるのだろうか。「基本的には同じかもしれませんが。言葉を使わないため、言語を超えた人間の普遍的な『笑い』だと思います」(ケ)。ただ、お客さんの「笑い」に対するリアクションが違うという。「日本では、面白いと思っていても、周りを気にしてか、リアクションが小さい。海外だと、周りに関係なく、自分が面白いと思ったこと

は、大いに笑う。リアクションが大きいですね」(H)。

忘れられないステージが、2007年、神奈川県立青少年センターでの公演だ。それまで、自分たちの表現が伝わる限界と考えていた客席数400名程度の公演に留めていた。自分たちの表現に限界を作らないために、倍の客席数での公演を初めて行った。「海外では評価いただいていたのですが、日本では、無理なのかなんて思っていました。でも、ステージが終わるとスタンディングオベーション。日本でも受け入れられたんだと感じて、舞台上で泣きましたね」(H)。

二人にとって「笑い」とは。「余裕かも。日常に『笑い』がある方がいいですよ」(ケ)。「誰かと一緒なら、『笑い』のある人生がいい。笑ってくれる人がいるから、自分のために演じる。もし、無人島に一人なら、演じることもないでしょうね」(H)。

GAMARJOBAT



PROFILE 上からケッチ!とHIRO-PONのサイレントコメディー・デュオ。1999年結成。エジンバラ・フェスティバル・フリンジやプライトン・フェスティバル・フリンジでの受賞など言葉や文化を超えたパフォーマンスが、高く評価されている。2007年には、Newsweek日本版「世界が尊敬する日本人100」に選出。2014年からは6人組ユニット「ザ・が～まるちょばカンパニー」でも活動している。